

管理職向け

# 教職員の健康を守るために

Vol.③

発行 令和7年3月  
枚方市教育委員会事務局  
学校教育部 教職員課

参考引用文献

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり-労働安全衛生法と教職員の健康管理-」  
NITS（独立行政法人教職員支援機構）

「労働安全衛生管理サポートガイド ココカラ」長野県教育委員会 令和5年2月策定



Good Health and Well-Being



## 「教職員が元気な学校は 子どもたちも元気な学校」

職場の労働環境改善等、健康経営の取組には、管理者のリーダーシップと教職員の当事者意識による主体的取組が重要です。学校規模に関係なく、どの学校においても、職場環境改善につながる話し合いの場、実質にこだわったチームでの取組がポイントです。



労働安全衛生法では、教職員50人以上の学校には、安全衛生に関する事項を調査審議する機関として「衛生委員会」の設置が義務付けられていますが、49人以下の学校においても、教職員の意見を聴取する等、労働安全衛生活動の取組が求められています。

教職員50人未満の中小規模校においては、衛生委員会の設置は法律による義務ではありませんが、労働安全衛生が重要であることは変わりません。労働者の健康管理、メンタルヘルスへの配慮、作業環境改善、労働条件改善、労働災害の防止等はいずれも安全で健康に働くうえで不可欠です。時代の変化もあり、個々の労働への姿勢等も以前のように均一ではなく、それぞれの事情を踏まえたうえでの対応が必要であり、職員間の綿密な意思疎通が重要になってくると考えます。



産業医：春名先生



組織として、労働安全衛生に関する会議体を持つことが大切なことは理解していますが、時間的余裕がない中、現実的に設定が困難です。工夫できることはありますか？

【ポイント】業務改善チームやその他の部会と組み合わせて、話し合いの場を設定・開催することも一案です。

- ・併催可能な会議を模索しながら、開催日の確保につなげていくことも働き方改革の取組の一つになります。
- ・15分程度でも話し合いの場をもつことからスタートしてみてください。
- ・事務職員や養護教諭、栄養教諭などの1人職の方の意見を聞くことも大切なことです。



杉中学校

産業医の春名先生から、委員会の運営について、教員の働き方や業務改善と合わせて進めていくことに後ろ盾をいただくとともに、活性化の手立てとして年間スケジュールを作成してタイムリーなテーマを取り上げていくことをご助言いただきました。

【R6.9.2 杉中ブログより】

運営委員会と合わせた形で衛生委員会を開催していました。参加者には、管理職をはじめ、事務職員や養護教諭もおり、様々な視点から労働安全衛生に関する議題について活発な意見交流がされていました。【R6.11.21 教職員課ブログより】



労働安全衛生について、継続的に話し合いの場を設けるとしても、何から始めればよいのでしょうか？

【ポイント】

- ・健康障害の防止：教職員の健康障害を防ぐための取組を行う。
- ・健康の保持増進：教職員の健康を維持し、向上させるための活動を推進する。

【主な内容】

- ①勤務時間中の事故防止対策と勤務環境管理
- ②健康診断やストレスチェック等の結果に基づく教職員の健康管理
- ③教職員に対する安全衛生教育に関する計画の策定
- ④長時間労働による教職員の健康障害の防止対策



次のページ  
をみてね

※これらは、大規模校において実施されている「衛生委員会」の目的・内容と同じです。



話し合いの際は、以下の3つの視点を柱にしましょう。

### ①啓発

安全・健康に関する話題提供（安全衛生の理解促進）

（例）健康関連の話題提供、ストレス対処法、長時間労働と睡眠の質の低下、生活習慣病予防、疲れをためない働き方、アンガーマネジメント、各種リーフレットの確認等

### ②調査・報告

資料や各種調査データを基にした議論（現状と課題等の共有）

（例）ストレスチェック集団分析結果・在校等時間の集計結果・学校内の巡視結果・教職員の公務災害事例等の共有（※個人情報の取扱いは要注意）

### ③審議

調査・報告に基づいた課題の整理、対策の検討（多様な職員で編成するチーム内対話）

（例）調査等の分析結果を基にした見直し、長時間労働改善のためにできること、設備や仕組みで災害を防止する工夫、風通しのよい職場づくりのポイント等

#### 【年間取組スケジュール例】

教職員課発行の冊子やチラシをみんなで確認するチャンス

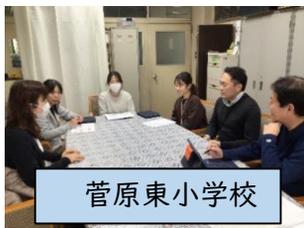
	テーマ例	話し合い内容	
4月	年間計画検討・職場の安全点検	新年度のスタート。多様な視点で危険箇所の巡視・点検を行う。	←市内学校で既に取組例あり
5月	枚方市立学校園教職員安全衛生管理規程やリーフレット等の確認	職場における健康障害発生予防の取組検討や長時間勤務者への医師による面接指導について理解を深める。	
6月	ヒヤリ・ハット事例の共有 熱中症予防月間	熱さ・業務により疲れやすい時期。健康・安全に関わる事故などが生じないように防止策を検討。教職員全体の心身の状況等を確認。	臨床心理士依頼 R6 年度6件!
7月	メンタルヘルスへの配慮	学校内外での相談窓口の周知や睡眠の必要性についてミニ研修。	
8月	年休の取得状況の確認	夏季休暇の取得、勤務の割振りなどの確認。息抜きについて。	実質にこだわった休憩の確保、リフレッシュ方法の提案、計画年休等
9月	勤務時間の管理 交通安全運動	勤務時間の集計を行い、働き方の見直しや職員室の状況を確認。	教職員課発行の分析資料を有効活用
10月	全国労働衛生週間	スローガンの確認、自校の実情に合わせた取組実施。	アンケートで職員の声を活かす
11月	ストレスチェックの集団分析	ストレスチェックの結果を踏まえ、職場環境改善の視点で取組検討。	
12月	年末年始無災害運動（火災予防）	年末年始を前に、学校安全の再確認として校内巡視を行う。	
1月	快適な職場づくりについて	職員室の整理整頓、職員間の親睦を深める取組検討・実施。	
2月	労働安全衛生活動の振り返り	今年度の推進チーム等の運営方法の振り返りと今後に向けて。	
3月	自殺対策予防と来年度の活動方針	心理的安全性を確保した協働的な職場風土に向けての意見交流。	

↑既に取り組んでいるもの、無理なく導入可能なものがたくさんあります。まずは各校の取組資料を見てみましょう。



蹉跎中学校

管理職・首席・養護教諭を中心に、必要に応じてすぐに開催。参加者振り返り「大切なのは居心地よく過ごせる職場とは何なのかを考えること」「I→WEに意識を変えて、皆で取り組む姿勢を大切にされた職場環境をめざす」【令和5年度取組報告書より】



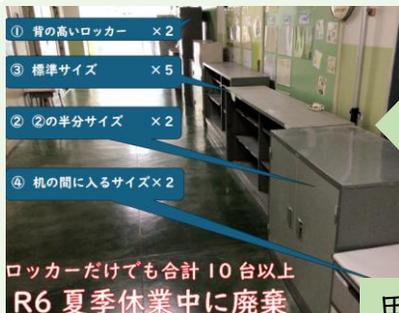
菅原東小学校

ストレスチェックの集団分析結果を確認・分析、職場調査アンケートの結果の共有、今後の衛生委員会の進め方の確認。ストレスチェックでは自校の強みや課題の確認、全国平均・男女比較等をする中で、現在の取組の成果や今後の取組検討を行いました。【R6.12.10開催の衛生委員会】

# 「学校」という職場を、教職員が健康に安心して働ける場所に

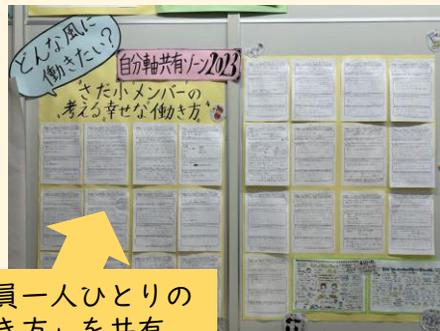
教職員が教育活動に専念できる職場環境づくりを推進していくことは、すべての学校における共通目標です。教育の質の向上につなげることをめざし、働く人の心身の健康度を高めましょう。まずはできることから！

## 枚方市内の小中学校における取組事例の紹介



伊加賀小：  
環境整備  
(高い棚の廃棄・  
物品整理)

田口山小：休憩室確保



蹉跎小：職員一人ひとりの  
「幸せな働き方」を共有



カーベットを敷いて、  
クッション置いて…



山田中：リラックスできる環境づくり  
公務災害対策&採光

津田小：勤務時間分析を職員に  
示し、業務量等を平準化

通常の学級担任とそれ以外の先生の時間外勤務の差(管理職以外)	R3	R4	R5(8月末まで)
管理職以外全員	33時間 24分	31時間 27分	30時間 48分
①通常の学級担任	43時間 07分	39時間 23分	40時間 53分
②①以外	19時間 44分	24時間 00分	18時間 34分
③②②	23時間 23分	15時間 23分	22時間 18分

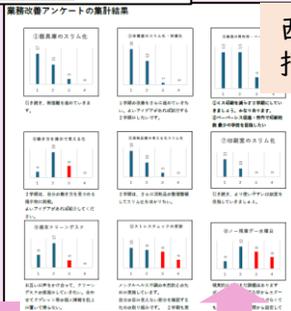


中宮小：ストレス  
チェック結果の分析



明倫小：業務改善推進委員会の  
メンバーに養護教諭。  
メンタルヘルスを話題に

楠葉西中校区：中学校区で  
メンタルヘルス対策の合同  
研修を開催



長尾西中：業務改善  
アンケートの実施